

第38回定例総会

障害者児を守る「ねっこの会」

2019年(令和1年)5月8日(水)13:00～

場所 木曾川庁舎研修室C

目次

- 1 会長より開会挨拶
 - 2 議長選出
 - 3 2018年度活動まとめ案
 - 4 2019年度活動方針案
 - 5 2018年度決算案(会計監査報告含む)
 - 6 2019年度予算案
 - 7 採択
 - 8 令和1年度(2019年度)役員選出
 - 9 新会長挨拶
 - 10 新副会長より閉会の挨拶
- ※ 総会後は学習会



1 / 19(土) 新年会と成人のお祝い 於:木曾川庁舎2階
※ゲストの「そぶたんず」さんに歌と踊りで盛り上げていただきました。

1 / 23(祝)休日の催しで水郷のさとめぐり
※近江八幡市内で手漕ぎ舟に乗りました

はじめに

<国内での障害者福祉に関する動き>

昨年度に、国内の障害者福祉に関する諸問題で、ねっこの会として学習や活動を進めた主な内容としては、以下の3つがあげられます。

- ①国の報酬改定により就労系サービス等での成果主義的傾向に拍車がかかった中で、国や地方自治体における障害者雇用水増し(偽造)問題が明るみになったこと。
- ②旧優生保護法下での強制不妊手術等による被害者の方々が勇気を出して訴訟の取り組みに立ち上がられたこと。
- ③65歳問題では介護保険優先の問題の改善を求める活動が広がりを見せる中で、岡山市の浅田さん訴訟において、地裁及び高裁で原告の浅田さんが全面的勝訴となり、介護保険優先のしくみの中で困窮される高齢障害者関係者等を大きく励ましました。

<きそがわ福祉会40周年企画に共催として取り組んだ「ねっこの会」>

昨年度の3月10日に開催された、きそがわ福祉会40周年企画においては、ねっこの会設立から計算した40年という歴史を振り返ることになり、私たちの活動の原点に立ち戻ることが出来ました。施設づくりが当初の目的ではなく、障害のある人も無い人も共に暮らしやすい町づくりをめざして始まった「ねっこの会」活動は、障害者権利条約を地域のすみずみに・・・と活動している現在の私たちの活動にも繋がることであり、引き続き、こうした活動を地道に続けていく必要性を確信することが出来ました。

2018年度 ねっこの会活動のまとめ

1. 働く場と生活の場の保障を求める運動の発展と文化諸行事の充実のために

<この1年の活動>

①5/19(土)きそがわふれあいコンサート(エレクトーンエキサイティングライブ)案内

②5/10(水)総会

同日、共生型サービスについてのミニ学習に続けて「幸せに生きるこつ」講師:青山祥子氏で学習会実施

③5/29(火)きそがわ福祉会ほのぼのまつり(6/3開催)にむけて、屋内企画の一部を担当して、「障害福祉サービス報酬改定等の動き」、「共生型サービス…創設の背景と懸念」の資料やチラシを作成し、広く市民に伝える取り組みを進めた。

④6/13(水)65歳介護保険の優先適用」廃止の請願署名案内(ねっこの会として218筆、カンパ5000円集まる)

⑤7/1(日)一宮市障害者スポーツ大会案内(一宮市社会福祉協議会より)

感想より

・前回車椅子の参加者も含めて駐車場が遠く砂利の場所であったことをふまえて事前に要望を伝え配慮していただきました。

・ホーム利用者が休日の取り組みとして多く参加することができました。今回はねっこの会からホーム利用者が参加者を代表して選手宣誓を担当してあいさつを努めました。

⑥ 7 / 1 6 (月・祝) きそがわふれあい公演 (柳家燕弥) 案内

⑦ 8 / 1 1 (土) ふれあいらんどデイキャンプ (犬山もみのきキャンプ場) 協力

感想より

・天候に恵まれて昨年度出来なかったスイカ割が出来て良かったです。
・参加した障害児者の人達は水遊びやバーベキューを楽しめ、特別支援学校の先生方やねっこの会会員ボランティアの人達の協力により無事終わることが出来ました。

⑧ 8 / 2 4 (金) 招待行事「サーカスイベント」案内 (一宮遊技業協同組合・東海テレビ愛の鈴より)

⑨ 9 / 9 (日) 障害者虐待防止講演会案内 講師:松上利男氏 (主催:一宮市障害者虐待防止センター)

⑩ 9 / 1 1 (火) きそがわ福祉会 40周年記念企画第1回実行委員会参加 (以後、最終実行委員会まで参加)

⑪ 9 / 2 1 (金)、2 2 (土) きょうされん大会 in 京都案内

⑫ 1 1 / 1 4 (水) 「障害児者をもつ家族の暮らしと健康の実態調査」を会員に依頼

⑬ 1 1 / 1 4 (水) 木曾川図書館建設に心血注いだ二人展案内

⑭ 1 0 / 1 6 (火) 会員親睦の催し (平日の部) 名古屋城本丸御殿と金シャチ横丁

感想より

・名古屋城本丸御殿は金箔が贅沢に使われ欄間の彫刻や天井の美しい造りに目がクギ付けになってしまいました。ゆっくり見学した後は時間まで金シャチ横丁で時間を過ごし、貴重なリフレッシュになりました。

⑮ 1 0 / 2 8 (日) きそがわふれあいコンサート (マリimbaとピアノのアンサンブル) 案内

⑯ 1 1 / 1 8 (日)、1 9 (月) 障全協全国集会・中央行動参加

感想より

・今年も全国各地の障害のある人の切実な「声」を直接、国へ届ける活動に参加出来、貴重な経験を積むことが出来ました。変わりゆく時代の中で、障害のある仲間の権利を守るとても大切な運動であり、ねっこの会として引き続き参加し続けて参りたいと思っています。

⑰ 1 1 / 2 3 (祝) 会員親睦の催し (休日の部) 近江八幡水郷のさとめぐり

感想より

・水郷めぐりは、古風な手漕ぎ舟に乗り、ゆったりとした時の流れの中、「葦」の間を進みながら自然を楽しむことが出来ました。
・八幡堀境界の散策では近江牛や有名な近江八幡のスイーツに舌鼓を打ち、江戸時代の名残を残す町並みを楽しむ中、偶然にも時代劇の撮影現場に遭遇することが出来、思わぬ貴重な体験をすることが出来ました。
・江戸情緒を残す歴史ある近江八幡を満喫出来る一日となりました。
・親子そろって楽しめる貴重な取り組みでした。

⑱ 1 2 / 1 2 (水) 「名古屋城にエレベーターを」請願署名案内 (ねっこの会として 456 筆集まる)

⑲ 1 / 1 6 (水) ののはな太鼓市民活動支援制度への協力の案内

参考資料 (ののはな太鼓さんより)

・今回の市民活動支援費制度の選択では、208,517 円の支援費を頂くことが出来ました。この資金を活用して令和元年の事業としては 8 月にファッションデザインセンターで『爆笑お笑い!! 健ロライブ』を開催予定です。ありがとうございました。

⑩ 1 / 19 (土) 新年会と成人のお祝い

感想より

- ・(成人を迎えた会員のお母さんより)皆さんにお祝いの声かけをしていただき娘は本当に嬉しそうでした。ここにいたるまでの色々な方々の協力で日々感謝の気持ちを忘れず、見守っていきたいと思います。
- ・(成人を迎えた会員のお母さんより)息子が大人としての自覚を持つ良い機会になり、お礼の言葉も自分で考えました。皆さんに温かく成人を祝って頂き、大変喜んでおりました。
- ・昨年に続き、イントロクイズは各テーブルで競い合っただけで楽しめる全員参加型ゲームで大変盛り上がる事が出来ました。
- ・ゲストとして「そぶたんず」さんに参加して頂き、手や足を動かさず音楽で皆で楽しい時間を過ごすことが出来ました。

⑪ 「一宮を共生のまちに・津久井やまゆり園事件が問いかけるもの」講演会(鈴木敏彦氏)案内 主催:一宮市障害者自立支援協議会

⑫ 福祉ふれあい交流会案内 主催:一宮市社会福祉協議会

⑬ 1 / 27 (日)舟橋さんを支援する会総会

感想より

- ・65歳問題について学べる場であったと同時に、きそがわ福祉会40周年についての呼びかけをさせていただきました。その結果、こぶしの会関係の皆さんが誘い合わせて参加をさせていただくことにも繋がりました。

⑭ 3 / 10 (日)きそがわ福祉会40周年記念企画(ねっこの会共催)

主な感想

- ・40年の歴史を振り返ることにより、ねっこの会の歴史をひも解く事になり、先輩の皆さん方が創り上げてきた歴史を知ると共に、現在を支える皆さんの思いも感じる事が出来極めて有意義な取り組みでした。
- ・仲間のステージはリハーサルよりも本番の方が良く、地域の協力者に歌と共に感謝の意を伝えることが出来、極めて有意義な取り組みでした。温かい拍手と共に楽しそうに発表している仲間達との一体感に感動しました。
- ・一宮市福祉課長さんは市長さんを見送られた後に、最後まで「星に語りて」を鑑賞される等、災害時における障害者の状況やあり方について考える重要性について広く市民の理解の輪を広げることになり、極めて有意義な取り組みでした。
- ・障害者福祉の過去の歴史の反省と共に、未来にむけての警笛と希望がうかがわれ、とても良かったです。
- ・地域の協力者の方にチケット普及の協力活動にも参加して頂き、繋がり輪が益々広がる極めて有意義な取り組みとなりました。

⑮ 3 / 31 (日)和太鼓交流演奏会Ⅱ案内 主催:ののはな太鼓

2 組織の拡大と強化めざして

★会員拡大について

今年度の総会時点の会員の状況は288会員となり、少なくとも目標の5会員以上の増を達成しました。

★役員会、事務局、会計等について

・役員会は定期開催する事ができました。事務局会議は特に開催をせず、毎月の役員会では時々の障害福祉情勢、運動、諸制度等に関する学習交流を進めてきました。役員会後半時間を中心に会員への案内発送実務等の事務局の実務も実施してきました。

・役員会資料準備や日常の実務活動については、ねっこの会事務局所在地に専ら在中する事務局員が中心になって行う中、新しい情報をより早く会員に伝えるよう努めつつ正しい会計情報も整えていけるよう努めてきました。

・役員会での学習内容について

5月	総会	11月	・障害者雇用の国や自治体の水増し問題 ・あいされん・県との懇談会後の交流
6月	・65歳介護保険の優先適用廃止を求める請願署名の内容	12月	・訪問系サービス概要とグループホーム利用制限等 ・名古屋城問題
7月	・旧優生保護法下での強制不妊手術問題	1月	・日本と他国のお正月の違い、障害福祉・医療の違い (台湾における障害者支援の現状と日本の違い等)
8月	・障害者による文化芸術活動の推進に関する法律 ・名古屋城問題	2月	・天白養護学校虐待問題
9月	・障害者雇用の国や自治体の水増し問題 (障害者雇用納付金制度の学習含む) ・あいされん・県への要望内容	3月	・地域生活支援拠点について
10月	・天白養護学校虐待問題	4月	・愛障協が愛知県警察に提出した要望書「信号機設置など障害者の交通安全を求める要望」「エスコートゾーンについての質問・要望書」の回答について

・事務局長及び各事務局次長が学習時間の準備担当を順番に担当して、多様な内容についてのミニ学習も進めてきました。

・年間を通して、役員、事務局員の分担を確認して取り組みを進めてきました。そうした中で、それぞれ担当となった役員、事務局員が役割を果たし、達成感を持って多くの会員の参加等も促していくことが出来ました。

2019年度 ねっこの会活動方針

1 働く場と生活の場の保障を求める運動の発展と文化諸行事の充実のために

★所属グループについて

- ・就学前、学校在学中グループ
- ・第二きそがわ作業所関係者グループ
- ・ホームスタッフグループ
- ・相談支援センタースタッフグループ
- ・北方あすなろ作業所関係者グループ
- ・きそがわ作業所・ゆうゆう関係者グループ
- ・ドリームセンター・ぬくもりホーム関係者グループ
- ・法人本部スタッフグループ
- ・在宅就労等関係者(特定のグループに属さない会員)

★主な活動方針について

①学習と交流と運動について

- ・愛障協、尾障懇、ののはな太鼓等の関係団体と連携をして、障害者児の生活や権利を守る活動に貢献しつつ、会員間の交流も進めていきます。様々な催しや学習会等の案内も適宜行っていきます。

- ・国、県、市町村に対して、公的福祉の充実をめざすための働きかけを、関係団体とも連携しつつ地道に進めていきます。

- ・大災害等で被災された方々への支援に関する学習と行動を継続していきます。

- ・きょうされん大会 in あいち(10月25日、26日)成功にむけての協力をしていきます。

②ねっこの会独自の全体企画とグループ別企画への支援について

- ・定着している会員の親睦行事(新年会、秋の親睦の催し等)を実施していきます。

- ・その他の全体に関わる新規企画も検討していきます。

- ・グループの会員親睦の催しについては、引き続き助成等の支援を行っていきます。

③昨年度の40周年記念企画の3つの「ねらい」について(ねっこの会ならではの具体化と継続)

- ・障害者権利条約を地域のすみずみに広げる活動を進めつつ、長年の支援者への感謝の気持ちを大切にします。

- ・困難な状況にある人を大切にしていきます。

- ・きそがわ福祉会新拠点づくりの動きに呼応していきます。

2 組織の拡大と強化めざして

★会員拡大について

本総会時から、プラス5の会員増をめざします。

★役員会、事務局について

①役員会は引き続き定例で開催し、事務局会議は必要に応じて開催します。

②年間を通して、役員、事務局員の分担を確認して取り組みを進めていき、諸活動の精通者を増やしていき、役員及び事務局員の連帯度合いを高めていきます。

③会員名簿の迅速な更新に努め、引き続き、金銭の出入金に関して間違いないよう進めていきます。

参考資料：ねっこの会から会員への助成金のあり方について

(次の場合に、ねっこの会からの助成金の交付を受ける事ができます。)

① 会員へ案内された任意参加行事の参加費の個人負担分の一部又は全部。(研修の場合は時によって旅費も含む)

② グループ別の取組で、そのグループの全会員に案内された行事の個人負担分の一部又は全額。この場合、飲食を中心とした交流の催しについては一会員あたり概ね年間2000円を助成対象限度額とする。

※施設グループは、その中での会員の全保護者又は会員の全仲間又は会員の全職員に案内された飲食を中心とした催しも対象とする。

※ねっこの会との関係団体の、いっぽの会、ふれあいらんどその他役員会で確認された団体の飲食を中心とした催しも対象とする。

③ 委員会の取組にかかる費用の個人負担分の一部又は全部。

④ ねっこの会の加盟する団体等から案内のある会議に出席した会員の旅費等の個人負担分の一部又は全部。

定例総会後の学習会

学習会テーマ . . . きそがわ福祉会の新拠点づくりに呼応した学習 . . .

- ◆ 障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、居住支援のための機能(相談、体験の機会と場、緊急時の受け入れと対応、専門性、地域の体制づくり等を . . .)を実現するための

「地域生活支援拠点」の学習 ※チューターは、きそがわ福祉会関係者

(主に単独型短期入所事業等について)

- ◆ 第5期一宮市障害福祉計画に呼応した「児童発達支援センター」の学習

※チューターは、チャイブの鷲尾氏